学校番号	１０１

令和８年度　看護医療科

教科	看護医療	科目	(学) 看護数学Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	教科書なし						
副教材等	完全理系専用スペクトル看護医療系のための数学Ⅰ・A（大学受験）技術評論社						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

確実な計算力を身につけることをめざします。基礎的な計算練習を積み重ねましょう。 授業をよく聞いて，なぜその公式が成り立つのかを理解することも必要です。理解した公式はきちんと使いこなせるように，様々なパターンの問題に繰り返し取り組みましょう。
学習の基本は授業です。欠席することなく継続的に授業に取り組みましょう。
学期や学年の評価は，定期考査だけでなく，授業態度や提出物・課題レポート・発表等を平常点として加味し評価します。
授業中のノートについては板書を写すだけでなく、授業のポイントや自身で気づいたこと、クラスメイトが発表し新しく知ったことなどの内容も記入していきます。

2　学習の到達目標

数学Ⅰ・A の範囲の内容について数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

⑴数と式、二次関数、図形と計量，2 次関数及びデータの分析，図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

⑵命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

⑶数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	数学ＩＡ 全般についての概念や原理・法則を体系的に理解している。・事象を数学化したり,数学的に解釈したり,数学的に表現・処理したりすることができる。	数学ＩＡ 全般について考察したり，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数 学的に考察したりすることができる。 いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり， 問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりすることができる。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論 拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	数学ＩＡ	数と式 ２次関数 図形の性質	a: 式、実数、平方根の扱い方について整理することができる。 b:一年次に扱わなかった定義域が変化する２次関数についても演習し、理解を深め、考察することができる。方べきの定理の逆を用いた証明などの課題にも取り組むことができる。 c: 学んだ内容への関心・興味を深め，課題・レポート・振り返りシートを作成し、提出する。	定期考査 レポート	定期考査 レポート 提出ノート	提出ノート 発表 振り返り シート
2	数学ＩＡ	図形と計量 集合・命題	a: 正弦定理、余弦定理を理解し、それらを用いる応用問題に取り組み、解法にたどり着くことができる。 場合の数につながる集合の考え方について演習に取り組みながら理解を深めることができる。 b: 学習した三角比の計算方法や集合・命題のとらえ方と関連づけ、課題を多面的に考察することができる。 c: 学んだ内容への関心・興味を深め，課題・レポート・振り返りシートを提出する。	定期考査 レポート	定期考査 レポート 提出ノート	提出ノート 発表 振り返り シート

3	数学A	場合の数 確率	a: 集合の考えを用いて，和事象，排反事象および余事象の確率・条件付き確率など様々な確率の問題を処理することができる。期待値の考え方を理解し，与えられた設定における期待値を求めることができる。 b: 集合の考え方を用いて，事象間の関係について考察できる。確率に関する問を場合の数を樹形図や表などを利用し的確に処理することができる。 c: 確率の考えのよさを認識して，それらをいろいろな事象の考えに活用しようとしている。 学んだ内容への関心・興味を深め，課題・レポート・振り返りシートを作成し、提出する。	定期考査 レポート	定期考査 レポート 提出ノート	提出ノート 発表 振り返り シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度